

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	クローバキッズ西岐阜		
○保護者評価実施期間	7年 2月 1日		～ 8年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	7年 2月 1日		～ 8年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	男性職員が多い為、体幹トレーニングやボールを使った遊びを提供することが出来る。 利用児童の特性に合わせて内容の活動等を提供している。 高校受験や小、中学生のテスト対策といった、学習支援を可能な限り行っている。	職員からの意見を吸い上げ、即座に対応出来るようにしている。 元塾の講師などといった、学習においての専門知識を持った職員が在職しているため、テストや受験の対策などを考える事が出来る。	配布物、保護者からの連絡事項等の徹底の為、必ず記録に残している。 年齢や性別問わず、交流が出来るような活動やグループ構成をしていく。
2	注意事項マニュアル等を毎日のミーティングで確認している。 送迎時に変更等があった場合、学校と連携し事故防止に努めている。 学校休業日や長期休暇の活動内容に利用児童の意見を反映させている。	利用児童が楽しく通所出来るような見守りや支援を行っている。 学校休業日の活動は、お出かけや食育で充実するように心がけている。 置き去り防止装置等の活用や忘れ物確認。	児童の興味嗜好を定期的に聞き取っていく。 保護者の希望や願いを聞き取り、反映させていく。
3	実践的な食育活動を行っており、その子に合った作業工程にチャレンジすることで、個々の支援を充実させることが出来ている。 清潔な環境を心掛け、衛生管理を徹底している。	事故やトラブル等の対応策を共有している。 感染症が蔓延しないように、マスクや手洗い等を利用児童の特性に合わせてイラストや文字の色を工夫して掲示している。	公共交通機関を使って戸外活動を行う。 廃材を使った工作を取り入れていく。 安全面に配慮しながら、作業内容を工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって児童に対する対応にバラつきがある。 利用児童同士のトラブルが同じ曜日に起こることがある。	年々、児童が高学年に進級していくので、年齢に合った活動等を工夫することが難しくなっている。 利用児童についての情報共有が、職員間で十分になされていない。 トラブルが起こりやすい児童同士の利用曜日が被ることが多い。	ミーティングの時間を活用し、職員間で情報共有を密に行い、個々の児童に合った対応のパターンを決めて実行する。 利用児童の日常の行動や発言からヒントを得て支援につなげる。
2	活動スペースの大きさが限られている。 建物構造や設備面により、運動と座位での遊びのスペースが十分に取れていないことがある。	利用児童の人数によって、集団活動の際に、狭く感じることもある。 建物の構造が二階にあり、すぐに改善するのが難しい。	限られたスペースの中で、マット等で有効的に使用して仕切り、活動を行う。 安全面に配慮しながら活動内容を工夫していく。
3	利用児童の自立に繋がるよう活動などをもう少し取り入れる必要がある。 事故等が発生したときに、事業所から速やかな連絡や事故が発生した時の状況の説明にタイムラグがあることがある。	職員の人員配置や状況による。 事故等が発生したときに、事業所から速やかな連絡や事故が発生した時の状況の説明にタイムラグがあることがある。	職員間で話し合い、児童の特性や職員の教育を拡充し、児童に合った支援を工夫する必要がある。 日頃起こりうる状況に対して職員間で確認し、未然に防げるようにしていく。